

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 14 週（4月1日～4月7日）

## ＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O8 1 人、 O128 1 人
四類感染症 デング熱	1 人 推定感染地域 国外
レジオネラ症	4 人 病型 肺炎型 4 人
五類感染症 アメーバ赤痢	2 人 病型 腸管アメーバ症 2 人
急性脳炎	1 人 病原体 インフルエンザウイルス B 型
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人 血清群 B 群 2 人
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
梅毒	10 人 病型 早期顕症 I 期 4 人 早期顕症 II 期 2 人、無症候 4 人

## ＜定点把握対象疾患の患者情報＞

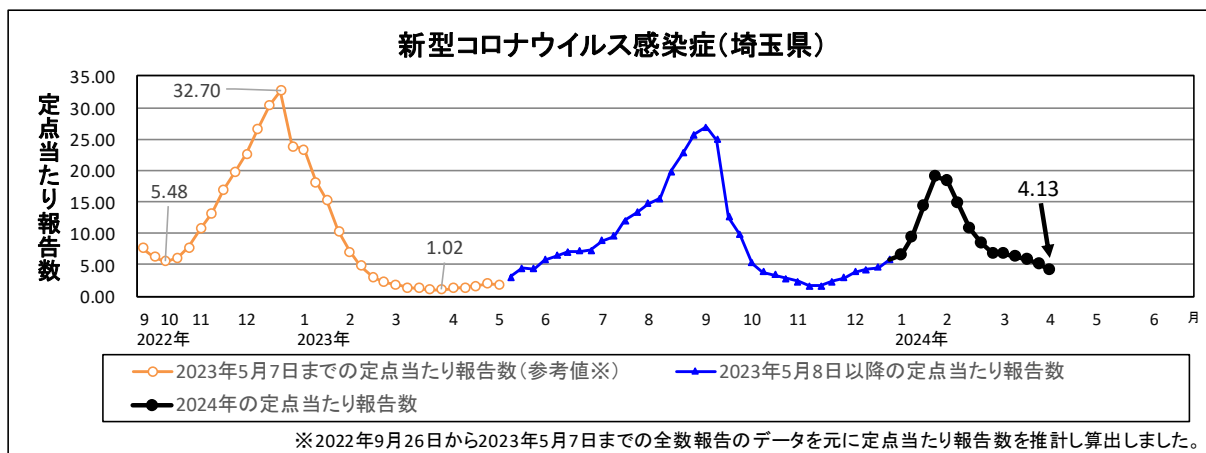
新型コロナウイルス感染症(5.00→4.13:図1)の定点当たり報告数は、第9週以降、緩やかな減少傾向が続いている。保健所別では、幸手(6.79)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は40人(前週41人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の72.5%であった。RSウイルス感染症(1.25→1.32:図2)の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、過去4年の同時期と比較すると多い状況にある。保健所別では、南部(5.20→6.40)保健所管内で大きく増加し、鴻巣(2.91)、幸手(2.44)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では1歳以下の報告が多く、全体の58%であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.94→3.09:図3)の定点当たり報告数は、第12週以降減少傾向にあるものの、依然として多い状況にある。保健所別では、春日部(8.67)、南部(7.20)、幸手(6.89)保健所管内からの報告が引き続き多い。インフルエンザ(14.18→6.23:図4)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく減少し、県内全保健所管内で定点当たり報告数10.00を下回った。年齢階級別では6歳の報告が特に多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎2人、流行性角結膜炎29人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎1人、インフルエンザ(入院)1人(前週7人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧いただけます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第14週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

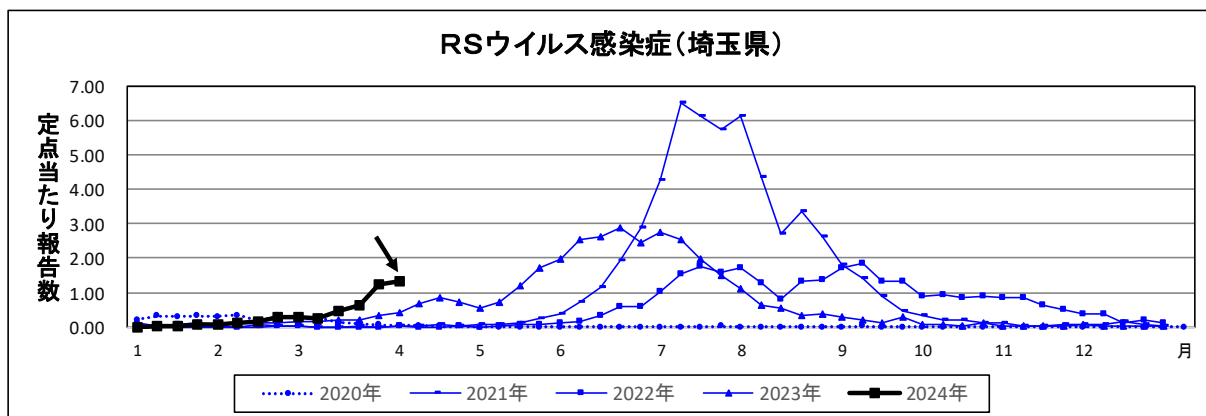
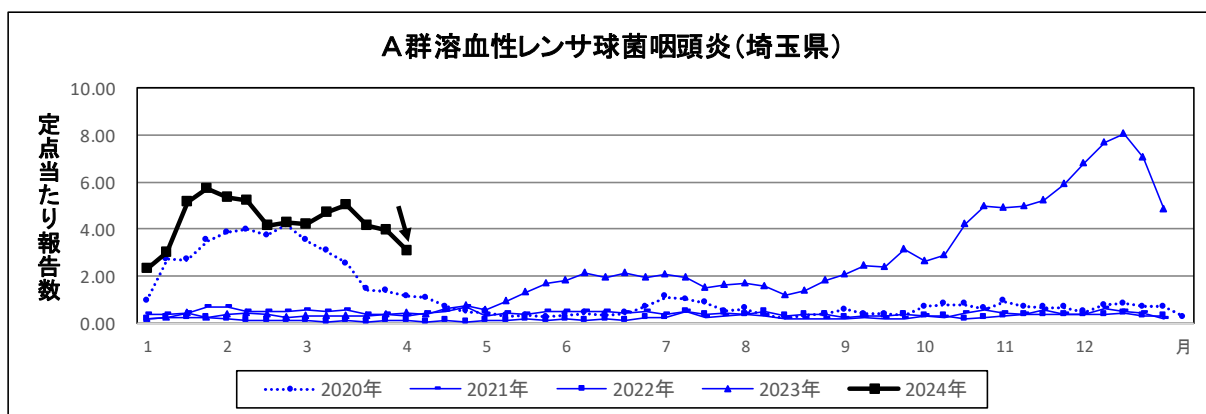
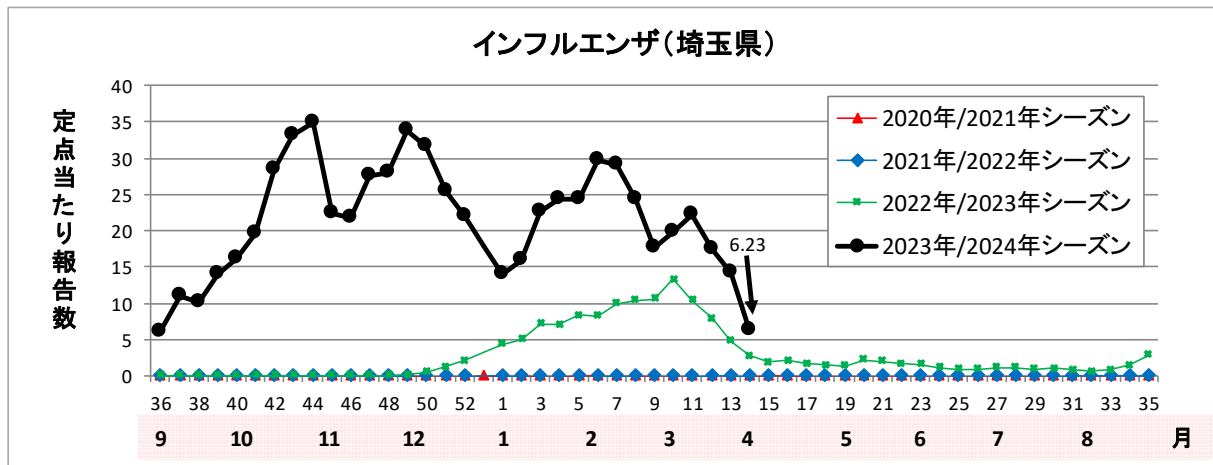


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第14週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図4 インフルエンザの定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第14週)

(2024年4月9日 16:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	30			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		11	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		2	ニバウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	4	24
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	1	3	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢	2	9	侵襲性肺炎球菌感染症	2	30
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		19	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	10	111
急性脳炎	1	10	播種性クリプトкокクス症		2
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	45	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		6	百日咳		12
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第14週

4月1日~4月7日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	4月1日~4月7日)					新型コロナウイルス 感染症 (入院)	
																細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		インフルエンザ (入院)
全 県	報告数	1,600	1,062	212	65	497	651	44	8	5	44	5	12	2	29	-	-	1	-	-	1	40
	定点当たり	6.23	4.13	1.32	0.40	3.09	4.04	0.27	0.05	0.03	0.27	0.03	0.07	0.05	0.69	-	-	0.08	-	-	0.08	3.33
朝 霞	報告数	185	100	10	3	54	53	-	-	1	7	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	8.04	4.35	0.67	0.20	3.60	3.53	-	-	0.07	0.47	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	5.00
鴻 巣	報告数	144	103	32	3	29	44	-	-	-	2	-	3	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	8.00	5.72	2.91	0.27	2.64	4.00	-	-	-	0.18	-	0.27	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	42	14	-	-	7	28	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	5.25	1.75	-	-	1.40	5.60	0.40	-	-	0.20	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数	38	22	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	7.60	4.40	0.33	-	1.67	-	0.33	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	35	26	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	5.83	4.33	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
熊 谷	報告数	117	57	12	3	22	32	-	-	-	2	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	7
	定点当たり	9.00	4.38	1.50	0.38	2.75	4.00	-	-	-	0.25	-	0.13	0.50	1.00	-	-	-	-	-	-	7.00
加 須	報告数	41	39	5	4	6	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	4.10	3.90	0.83	0.67	1.00	0.17	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	5.00
春 日 部	報告数	87	44	-	3	52	62	5	-	1	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	8.70	4.40	-	0.50	8.67	10.33	0.83	-	0.17	0.50	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	121	95	22	19	62	10	7	-	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	8.64	6.79	2.44	2.11	6.89	1.11	0.78	-	-	0.11	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	92	52	6	-	7	32	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	9.20	5.20	1.00	-	1.17	5.33	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
草 加	報告数	90	111	13	-	38	49	1	2	-	2	1	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	4.74	5.84	1.08	-	3.17	4.08	0.08	0.17	-	0.17	0.08	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	155	133	9	14	58	42	9	-	-	3	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	6.20	5.32	0.56	0.88	3.63	2.63	0.56	-	-	0.19	-	0.13	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	5.00
南 部	報告数	53	46	32	4	36	43	5	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	7
	定点当たり	6.63	5.75	6.40	0.80	7.20	8.60	1.00	-	-	0.20	-	0.20	-	-	-	-	1.00	-	-	-	7.00
川 越 市	報告数	60	22	8	-	25	24	-	-	-	2	1	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	4.29	1.57	1.00	-	3.13	3.00	-	-	-	0.25	0.13	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	65	59	1	6	11	43	3	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	5.00	4.54	0.13	0.75	1.38	5.38	0.38	-	-	0.25	-	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	1.00	-
川 口 市	報告数	102	57	18	-	37	79	2	1	1	5	2	1	-	5	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	5.37	3.00	1.50	-	3.08	6.58	0.17	0.08	0.08	0.42	0.17	0.08	-	1.25	-	-	-	-	-	-	2.00
さいたま市	報告数	173	82	42	6	45	109	8	4	2	13	1	1	-	8	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	4.12	1.95	1.50	0.21	1.61	3.89	0.29	0.14	0.07	0.46	0.04	0.04	-	0.89	-	-	-	-	-	-	5.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

4月

9日

14:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第14週 4月1日～4月7日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	1,600	5	17	58	63	61	71	98	150	101	91	85	349	97	88	127	89	30	9	5	6
新型コロナウイルス感染症	1,062	7	29	40	26	22	14	9	13	10	8	10	43	45	120	116	133	134	100	98	85
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	212	33	39	51	46	25	9	3	2	1	1	-	-	2	-						
咽頭結膜熱	65	1	-	7	3	8	10	6	9	5	7	2	3	-	4						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	497	-	2	15	36	49	39	66	47	58	41	34	81	-	29						
感染性胃腸炎	651	11	33	70	66	73	63	62	49	43	45	25	49	14	48						
水痘	44	-	1	3	-	1	-	5	3	7	10	5	5	3	1						
手足口病	8	-	1	2	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	5	-	-	1	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-						
突発性発しん	44	1	9	23	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	5	-	-	2	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	12	-	-	-	-	-	1	3	4	1	2	-	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
流行性角結膜炎	29	-	-	2	-	-	4	1	1	1	-	-	-	1	-	6	7	1	3	2	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	40	5	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	2	-	-	1	29				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第12週 (3月18日～3月24日)

令和6年4月10日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は新潟県(29.05)、富山県(29.04)、山形県(27.63)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は305例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(12例)、1～9歳(139例)、10代(46例)、20代(11例)、30代(9例)、40代(7例)、50代(9例)、60代(7例)、70代(23例)、80歳以上(42例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(10.12)、宮城県(9.63)、岩手県(9.51)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,950例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(46例)、1～9歳(76例)、10代(18例)、20代(20例)、30代(33例)、40代(54例)、50代(102例)、60代(166例)、70代(474例)、80歳以上(961例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大阪府(2.23)、奈良県(1.88)、福井県(1.44)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.75)、岩手県(2.38)、新潟県(2.18)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(8.70)、新潟県(6.64)、山形県(6.25)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は富山県(10.86)、大分県(8.39)、愛媛県(7.57)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.36)、鹿児島県(0.65)、岡山県(0.61)、宮崎県(0.61)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は滋賀県(0.06)、山口県(0.05)、愛媛県(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は高知県(0.23)、島根県(0.13)、沖縄県(0.13)、香川県(0.11)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は岐阜県(0.09)、徳島県(0.09)、宮崎県(0.06)、沖縄県(0.06)である。

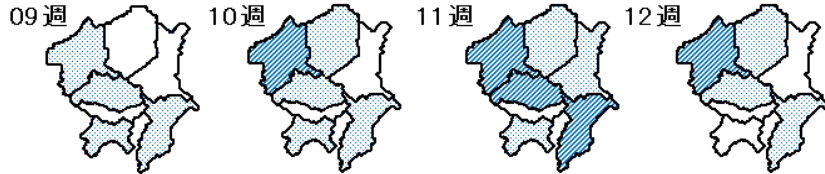
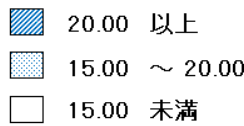
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.71)、大阪府(0.50)、青森県(0.33)、福井県(0.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第9週以降増加が続いている。8都道府県から12例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(4例)、5～9歳(3例)、10代(1例)、30代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第12週(3月18日～3月24日):通巻第26巻 第12号 より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、群馬県(22.57)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2024年 12週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	69,510	22,586	1,777	1,335	1,896	4,569	3,709	4,777	4,523
	定点当たり	14.08	14.81	14.81	17.57	22.57	17.51	18.36	11.48	12.36
新型コロナウイルス感染症	報告数	25,727	6,820	821	408	422	1,515	1,126	1,274	1,254
	定点当たり	5.21	4.47	6.84	5.37	5.02	5.80	5.57	3.06	3.43
RSウイルス感染症	報告数	1,812	477	25	32	42	104	36	141	97
	定点当たり	0.58	0.50	0.33	0.67	0.79	0.63	0.29	0.54	0.42
咽頭結膜熱	報告数	2,199	365	27	23	50	78	66	44	77
	定点当たり	0.70	0.38	0.36	0.48	0.94	0.48	0.53	0.17	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	11,523	3,349	365	153	190	684	599	741	617
	定点当たり	3.67	3.50	4.87	3.19	3.58	4.17	4.79	2.83	2.67
感染性胃腸炎	報告数	13,441	3,525	289	80	189	693	568	1,096	610
	定点当たり	4.28	3.68	3.85	1.67	3.57	4.23	4.54	4.18	2.64
水痘	報告数	409	147	7	4	-	40	10	56	30
	定点当たり	0.13	0.15	0.09	0.08	-	0.24	0.08	0.21	0.13
手足口病	報告数	522	56	1	6	28	8	-	4	9
	定点当たり	0.17	0.06	0.01	0.13	0.53	0.05	-	0.02	0.04
伝染性紅斑	報告数	53	32	3	1	-	7	4	11	6
	定点当たり	0.02	0.03	0.04	0.02	-	0.04	0.03	0.04	0.03
突発性発しん	報告数	657	191	9	10	16	28	18	64	46
	定点当たり	0.21	0.20	0.12	0.21	0.30	0.17	0.14	0.24	0.20
ヘルパンギーナ	報告数	70	10	1	-	2	2	-	2	3
	定点当たり	0.02	0.01	0.01	-	0.04	0.01	-	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	80	27	-	-	2	9	3	10	3
	定点当たり	0.03	0.03	-	-	0.04	0.05	0.02	0.04	0.01
急性出血性結膜炎	報告数	12	5	-	-	-	3	-	-	2
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.07	-	-	0.04
流行性角結膜炎	報告数	286	117	9	5	7	16	14	10	56
	定点当たり	0.41	0.56	0.56	0.42	0.50	0.38	0.40	0.26	1.12
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	3	-	-	-	-	1	1	1
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	-	0.11	0.04	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	13	2	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	0.11	-	-	-	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	40	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.08	0.01	-	-	-	-	-	-	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.08
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	12	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.08	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

## 今月のコメント

3月に採取されたインフルエンザ検体は44検体で、検査が終了した43検体から、B型（ビクトリア系統）が35件、AH3亜型及びAH1pdm09亜型がそれぞれ3件検出されました。また、麻しんが疑われる検体が35検体採取されましたが、麻しん及び風しんウイルスは検出されませんでした。

## 細菌検出状況

## 三類感染症

令和6年3月31日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(3月分)
		1月	2月	3月	
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	4	7	1	H-(VT1&2):1
	腸管出血性大腸菌O26		1	1	H11(VT1&2):1
	腸管出血性大腸菌O111	1			
	腸管出血性大腸菌その他	3	2	1	O121:H19(VT2):1
腸チフス	チフス菌			1(1)	Salmonella Typhi:1(インドネシア)

コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、バラチフスに関しては、( )内に海外感染例を掲載

## 四類感染症

令和6年3月31日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(3月分)
		1月	2月	3月	
レジオネラ症	Legionella pneumophila SG1			2	
	Legionella spp. (LAMP陽性)	1			

( )内は海外感染例再掲

## 五類感染症(全数把握)

令和6年3月31日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(3月分)
		1月	2月	3月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	Klebsiella aerogenes	3	1		
	Klebsiella pneumoniae	2		1	
	Enterobacter cloacae complex	2	3		
	その他CRE	1	1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌(Streptococcus pyogenes)	15	9	2	
	B群レンサ球菌(Streptococcus agalactiae)	1	1	1	
	G群レンサ球菌	1	3	3	Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis:3
	その他レンサ球菌			1	C群レンサ球菌:Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis:1
播種性クリプトコックス症	Cryptococcus 属真菌		1		





- 感染症発生動向調査 2024年**
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第14週

2024年第14週（4月1日～4月7日）の要点  
RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週と同水準で、過去4年の同時期と比較すると多い状況にあります。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↓	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	↑	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）\*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン